

「お米育ち豚」に給餌する飼料米の産地を組合員が視察 10月15～16日、JAいわて花巻の「産地視察・交流」を実施

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、加盟生協：関東信越の6生協）は、10月15日（火）～16日（水）の2日間、コープネットグループの組合員と役職員による『産地視察・交流 産地の想いをつなぐ』をJAいわて花巻（名称：花巻農業協同組合、本所：岩手県花巻市）で実施します。

産地視察・交流は、「食料の生い立ちを知ること」「産地・生産者の想いを受けとること」そして、消費者・販売者の立場から意見・要望を伝え、「生産」「消費」について知識と理解を広げることを目的に2009年から始めました。

JAいわて花巻は、コープネットグループの総合的な産直産地で、産地視察・交流は今回で11回目となります。花巻市は岩手県の中央に位置しており、岩手県内でも主要な稲作地帯で、コープネットで取り扱うお米は「CO・OP 特別栽培米岩手ひとめぼれ」などがあります。また、当事業連合では2008年に「飼料米による産直豚肉の取り組みに関する協定」¹を現地の事業者と結び、花巻市の飼料米を使って育てた産直豚肉「お米育ち豚」を、宅配サービス「コープデリ」、コープネットグループ全店舗で販売しています。今回の産地視察・交流では、飼料米の田んぼでの稲刈り体験、「お米育ち豚」を加工する岩手畜産流通センターを視察します。



今年5月の同産地の視察交流「田植え」のようす

産地視察・交流の参加者は、生産者と交流を図ることで、産地の特徴や生産者の苦勞などについて理解を深め、そのことをより多くの組合員・職員に広げる役割を担っています。この活動内容は、広報誌や、宅配サービス「コープデリ」のカタログ「ハピ・デリ！」をはじめ、地域の商品や食と食料課題の取り組みを紹介するカタログなどで紹介します。

当事業連合では組合員と役職員の産地視察、生産者との交流を通して、今後とも全国の産地とより強固なパートナーシップの確立を目指してまいります。

1 「飼料米による産直豚肉の取り組みに関する協定」

コープネットおよびJAいわて花巻、（有）ありす畜産、北日本くみあい飼料（株）（株）岩手畜産流通センター、JA全農ミートフーズ（株）、JA全農岩手県本部の7者は、「協同組合間の協同」、生産者と消費者が協同する「産直事業」、「耕畜連携」を推進する立場から、飼料米による産直豚肉の取り組みの協定を2008年5月に結びました。

産地視察・交流およびJAいわて花巻の概要につきましては、次頁をご参照ください。

－ JAいわて花巻 産地視察・交流 －

日程および視察・交流内容

- 10月15日(火) 飼料米の田んぼにて稲刈り体験、カントリーエレベーター(穀物の貯蔵・乾燥・分別管理を行う施設)視察、郷土料理講習会、生産者交流会 など
10月16日(水) (有)ありす畜産視察、岩手畜産流通センター視察、りんご園視察 など

参加者

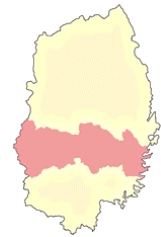
コープみらい副理事長、組合員(理事など)、店舗職員、コープデリ宅配職員 など16人

主要産地視察・交流の目的

- (1) 組合員・生産者とともに「生産」「消費」について知識と理解をひろげ、生産者・加工者・コープ・組合員が一体となって、「産直」の取り組みを推進します。
- (2) フードチェーン(生産から消費まで)をより確固たるものにするために、組合員の産地視察、生産者との交流など、信頼の輪を広げる取り組みを進めます。
- (3) 理事長を団長とし会員生協組合員理事、会員生協職員を中心とした全国主要産地視察・交流に取り組みます。
- (4) 参加者は、視察・交流を通して産地の特徴や生活者の苦労などについて理解を深め、そのことをより多くの組合員・職員にひろげます。あわせて「ハピ・デリ!」紙面、組合員広報誌等で産地視察・交流内容を紹介します。
- (5) 産地視察・交流を含め、多面的かつ総合的な取り組みを通して、全国の主要産地との「より強固なパートナーシップ」の確立を目指します。

JAいわて花巻

岩手県の中央に位置する「JAいわて花巻」は、岩手県内でも主要な稲作地帯です。総面積は34万ヘクタールで、東は太平洋、西は秋田県、南は奥州市、北は紫波郡紫波町に接しており、耕地面積は3万ヘクタール(水田率87%)と高い比率を示しています。お米の取り扱い「CO・OP 特別栽培米岩手ひとめぼれ」などがあり、恵まれた自然ときれいな水、空気、寒暖の差が大きい内陸性気候、農薬・化学肥料の使用量の削減を目指し、農の匠により丹精こめて作られたおいしいお米です。



飼料米の活用

お米は、日本の食料自給率向上のカギを握っていますが、食生活の多様化で、主食で食べるだけではなかなか消費は増えません。自給率が低い家畜のエサに着目し、お米を飼料に使うと豚肉の生産へとつながられないか。飼料米を作ることで、生産調整で荒れる田んぼを守れないかという想いから、2008年より「お米育ち豚」の取り組みをスタートしました。



「飼料用のお米を育てる」「そのお米で豚を育てる」「その豚を食べる」「食べた思いを育てた人に伝える」コープネットグループはフードチェーン(食べ物の流通の鎖)全体で、飼料米の取り組みの定着を目指しています。

〈生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要〉

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【理事長】赤松 光(あかまつ ひかる)

【会員生協】生活協同組合コープみらい

いばらきコープ生活協同組合

とちぎコープ生活協同組合

生活協同組合コープぐんま

生活協同組合コープながの

生活協同組合コープにいがた

ちばコープ、さいたまコープ、

埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

茨城県小美玉市西郷地 1703

栃木県宇都宮市川田町 858

群馬県桐生市相生町 1-111

長野県長野市篠ノ井御幣川 668

新潟県新潟市西区山田 2309-7

コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

理事長 田井 修司

理事長 佐藤 洋一

理事長 古口 葉子

理事長 梅澤 義夫

理事長 上田 均

理事長 小林 昭三

【総事業高】4,930億円(会員生協事業高計) 2012年度

【組合員数】416万人(会員生協組合員計) 2013年9月20日現在

【ホームページ】<http://www.coopnet.jp/>